

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習III		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習IIに引き続き、トレーニングに必要な知識や関連分野に関する内容を実践・データ収集・まとめる・修正というサイクルを繰り返しによる論文の作成とヘルスプロモーション関連のフィールドワークを通して、実社会で必要となる考え方と行動力をトライ&エラーしながら身に付けることを目的とする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ピäsentストラクション（根拠やプロセスを教え合うこと）を積極的に取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、卒業論文・就職活動のスケジュールの確認、面談	授業の進め方、春季休暇中の研究の進捗状況について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	研究進捗の発表（1）	研究進捗を発表する。	<input type="checkbox"/>
第3回	研究進捗の発表（2）	研究進捗を発表する。	<input type="checkbox"/>
第4回	論文のためのデータ・情報の収集と処理	論文のためのデータ・情報を収集によって、設定したテーマ（仮説）について、更なるデータ・情報の収集を実施し、データに適したデータ処理と統計処理をする	<input type="checkbox"/>
第5回	図表の作成	見やすくて、わかりやすい表の作成をする。	<input type="checkbox"/>
第6回	論文のための背景の推敲	論文のためのテーマについて、『データ・情報の収集』+『考察』のサイクルを繰り返し、背景を深めていく。	<input type="checkbox"/>
第7回	論文の書き方	論文の書き方とタイトルページ、目次の作り方、脚注の入れ方などWordでの小論文の作成に必要な機能を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	プレゼンテーションの方法（口頭発表、ポスター発表）	聞きやすくて、見やすくて、わかりやすいプレゼン資料の作成とプレゼンの方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	フィールドワークの計画	フィールドワークの計画する。	<input type="checkbox"/>
第10回	フィールドワークの実践（1）	フィールドワークの実践する。	<input type="checkbox"/>
第11回	フィールドワークの実践（2）	前回の経験を活かしてフィールドワークの実践する。	<input type="checkbox"/>
第12回	フィールドワークの振り返り	フィールドワークの振り返りをする。	<input type="checkbox"/>
第13回	ゼミ内進捗状況発表会（1）	ゼミ内で進捗状況を発表し、受講者より意見をもらう。	<input type="checkbox"/>
第14回	ゼミ内進捗状況発表会（2）	ゼミ内で進捗状況を発表し、受講者より意見をもらう。	<input type="checkbox"/>
第15回	コース合同の進捗状況報告期末発表会	トレーナーコース合同で進捗状況の報告を行う。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【講義】 事前：トレーニング用語や医学用語などの専門分野の単語が多いため、テキスト、参考図書、webを利用し、必要な関連知識を学習する（2時間程度）。 事後：毎回、課題が出るので、その課題に取り組む（2時間程度）。 【フィールドワーク】 事前：スムーズにフィールドワークが行えるように準備する（1時間程度）。 事後：ゼミ内でフィールドワークの情報を共有し、振り返る（1時間程度）。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは添削・採点をしてから返却する。 全体として共通のポイントに関しては全体で共有し、個別のポイントに関しては学生

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	1. 人間健康学の身体領域に関わる内容を理解し、問題意識を持つことができる。 2. フィールドワークにおいて問題発見、試行錯誤、創意工夫、課題解決する努力ができる。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

**授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)**

レポート（卒業論文の進捗）100%

**■テキスト(Textbooks)**

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聰樹、これから論文を書く若者のために（究極の大改訂版）、共立出版	
2		
3		
4		
5		